

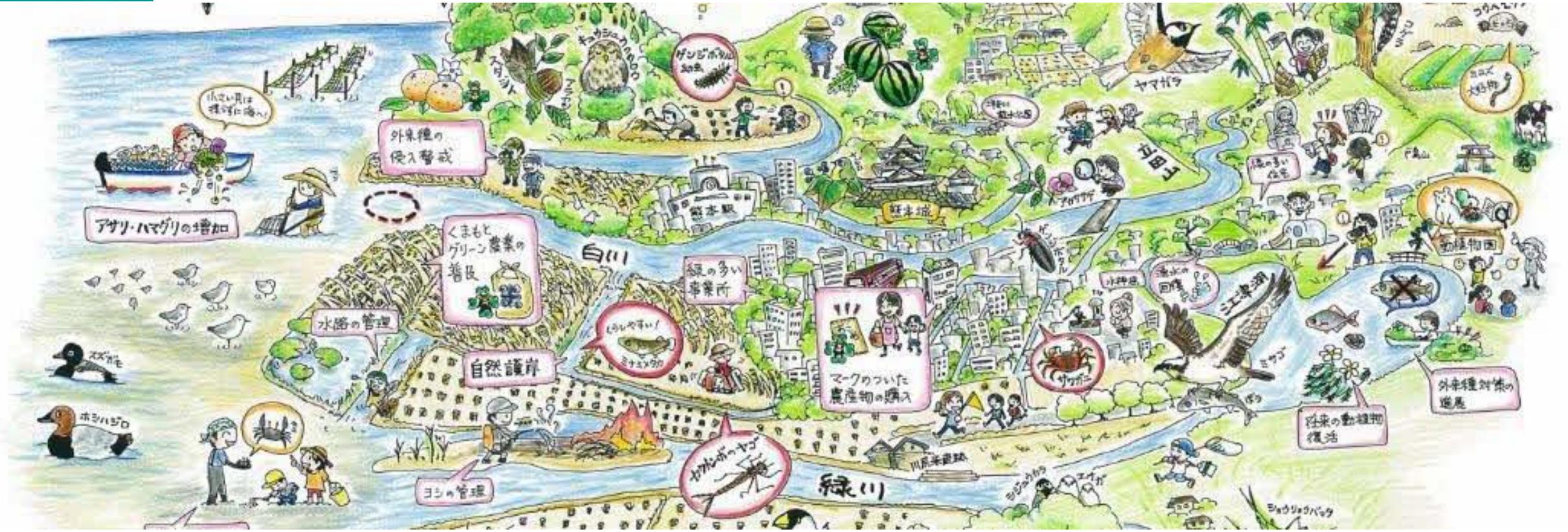
次期「熊本市生物多様性戦略」 施策等について

環境局 環境推進部 環境政策課

1-1 現行戦略 生物多様性戦略 くまもとCプラン (2016-2023)

基本理念

「自然のめぐみに感謝し、人と自然がともに生きるまち、くまもとを、みんなで実現する」



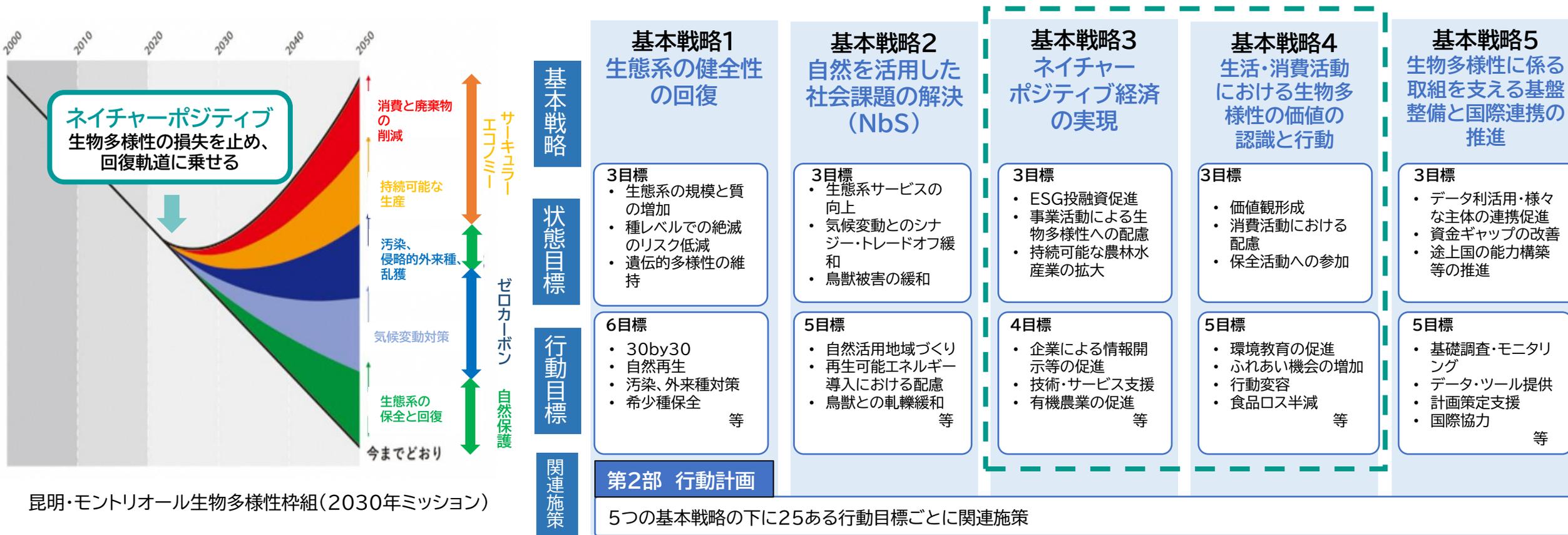
2050年の望ましい姿を「市民一人ひとりが関心を持ち、理解し、暮らしの中で生物多様性を上手に利用しながら守る行動をしている姿、市内に水や緑のつながりが身近な自然とともにかたちづくられ、豊かな生きものが息づき、人と人、人と自然がつながりあい、いきいきとした暮らしが営まれている」と掲げ、

5つの基本戦略(知る、学び・つながる、守る、創る、活かす)を軸に取組を行ってきた。

2-1 (参考) 生物多様性条約及び国家戦略

「昆明・モンリオール生物多様性枠組」及び「生物多様性国家戦略」の2030年目標
 【ネイチャーポジティブ(自然再興)の実現】

資料:環境省次期生物多様性国家戦略地方説明会より



昆明・モンリオール生物多様性枠組(2030年ミッション)

●生物多様性の保全には長期的な施策が求められるため、現行戦略を踏襲しつつ、新たな世界目標(ネイチャーポジティブの実現)に向け、関連する既存事業を戦略へ体系的に組み込み、全庁的に取り組んでいく。

2-2 次期戦略骨子案（基本戦略）

○現行の5つの基本戦略を踏襲しつつ、自然保護分野以外の様々な分野の取組を組み込んでいく。

基本戦略	基本戦略1 ～知る～	基本戦略2 ～学び、つながる～	基本戦略3 ～守る～	基本戦略4 ～創る～	基本戦略5 ～活かす～
2030年までの具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性に関する情報の収集・発信の体制構築 ●生物多様性に関する情報の整理・分析 ●自然環境に関するモニタリング・調査の実施 ●企業による生物多様性に関する情報開示の推進(TNFD) ●ICTを活用した情報の収集・分析 	<ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性の認識の向上 ●教育の推進・人材の育成 ●連携・協働体制の構築 ●環境に配慮した商品やサービスの周知啓発 ●持続可能な生産・消費のための食品ロス削減 ●持続可能な開発のための教育(ESD)推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●絶滅危惧種の保全 ●多様な自然環境の保全 ●外来種対策の実施 ●広域的な視点での保全対策の実施 ●気候変動への対応 ●プラスチック対策の推進 ●動物由来感染症対策 ●環境アセスメント制度の構築・実施 ●鳥獣被害防止対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●生きものの生息・生育地となる緑地の創出 ●生物多様性に配慮した整備の推進 ●ESG投融資の促進(グリーンボンド発行) ●保護地域以外の生物多様性に貢献している場所(OECM)の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性と地下水、歴史・文化を活かした魅力の発信 ●生物多様性と地下水、歴史・文化を活かした地域づくりの推進 ●生物多様性と地下水を活かした農林水産業の推進 ●民間活力と自然を活用した社会課題解決(NbS) ●熊本地域の文化を活かしたまちづくり ●再生可能エネルギーの推進
	★地下水の地域特性把握	★地下水に関する普及・啓発	★地下水質・量の保全	★地下水かん養	★地下水の活用

★市民や事業者等にとってわかりやすいものとするため、身近で関心の高い「地下水」について、5つの基本戦略全てに明記することで、認知度の向上と生物多様性の保全に向け取り組んでいく。

2-3 次期戦略の基本戦略について

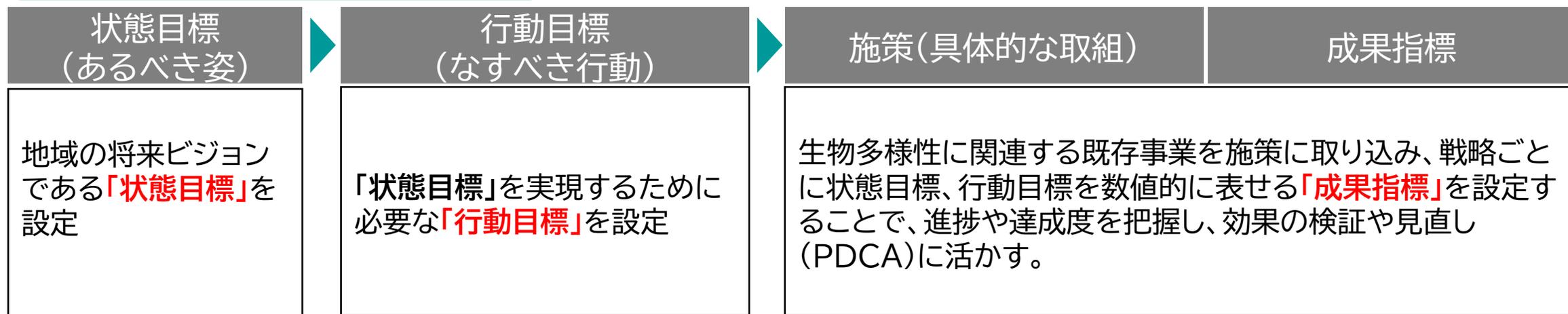
● 現行の戦略では、5つの戦略ごとに短期目標を掲げていたが、成果指標は「生物多様性の認知度」だけの設定であった。

⇒ 次期戦略では5つの戦略ごとに状態目標と行動目標に加え、成果指標を設定する。

● 「生物多様性の保全」は依然として市民や事業者にとってわかりにくいものとなっている。

⇒ 市民にとって身近でわかりやすものとするため、地下水の取組を各戦略に重点プロジェクトとして位置付ける。

基本戦略ごとの目標設定



3-1 次期戦略（基本戦略1）～知る～

次期戦略

基本戦略1

知る

【重点プロジェクト】
恵まれた地下水について知る

施策(具体的な取組)

- ・出前講座や節水市民運動の実施
- ・くまもと水検定の実施や副読本を活用した教育

状態目標

行動目標

施策(具体的な取組)

1-1 熊本市の恵まれた自然環境について知っている	1-1 熊本市の生態系や守るべき自然を把握する	出前講座などの普及啓発の実施	環境政策課 動植物園 環境総合センター 熊本博物館 他
	1-2 絶滅の危機にある種及び生息生育地を把握する	絶滅危惧種や希少種調査の実施	環境政策課
	1-3 ICTを活用した情報収集や分析を行う	指標種モニタリングの実施	環境政策課
	1-4 生物多様性について知る	ICTを活用した調査報告システムの実施	環境政策課
	1-5 企業による生物多様性に関する情報開示を推進する	出前講座などの普及啓発の実施	環境政策課 動植物園 環境総合センター 熊本博物館 他
1-2 生物多様性について理解している		企業による生物多様性に関する情報開示の推進(TNFD)	環境政策課

【成果指標】 水や酸素のほか、食料や地域特有の文化などが、「生物多様性のめぐみ」だと理解している人の割合

3-2 次期戦略（基本戦略2）～学び・つながる～

次期戦略

基本戦略2

学び・つながる

【重点プロジェクト】
地下水について学ぶ機会を持つ

施策(具体的な取組)

- ・田んぼハイスクールによる学習機会の創出
- ・水源地見学などの実施

状態目標

行動目標

施策(具体的な取組)

2-1 生物多様性について正しく学ぶ環境が整っている
2-2 生物多様性の保全の推進に向けた取組が、活動団体等と連携して実施されている

2-1 持続可能な開発のための教育(ESD)を推進する
2-2 生物多様性に配慮した商品やサービスについて普及啓発する
2-3 持続可能な生産・消費にするため食品ロス削減の普及啓発をする
2-4 連携基盤であるプラットフォームを活用する
2-5 様々な主体と連携した取組を進める

自然観察会、体験学習等の実施	動植物園 環境総合センター 花とみどり協働課 教育委員会
食育の実施	健康づくり推進課
ESD人材の育成	環境政策課 教育委員会
ワンウェイプラスチック削減・バイオプラスチック等利用促進事業の実施	廃棄物計画課
「もったいない！食べ残しゼロ運動」の推進	事業ごみ対策課
「買いすぎない、作りすぎない、食べ残さない」など、食べ物を大切にすることの啓発	健康づくり推進課
いきもんネットを活用した連携・協働の取組実施	環境政策課
市民活動団体と連携したイベントの実施	環境政策課

【成果指標】 生物多様性について学ぶ環境学習の実施回数

3-3 次期戦略（基本戦略3）～守る～

次期戦略

基本戦略3 守る

【重点プロジェクト】
良質な地下水を保全する

施策(具体的な取組)

- ・地下水質の常時監視
- ・硝酸性窒素対策

状態目標	行動目標	施策(具体的な取組)	
3-1 生きものが安心して生息生育できる自然環境が保全されている	3-1 絶滅危惧種を保全する取組を実施する	絶滅危惧種の生息域外保全の実施	動植物園
	3-2 健全な生態系を保全する	特定外来生物の駆除	環境政策課 各区土木センター
	3-3 人と動物との適切な距離を保つ	緑地・森林の保全	みどり政策課 都市政策課
		街路樹再生整備の推進	みどり政策課 東区土木センター
	3-4 周辺環境に配慮した開発事業を推進する	野生鳥獣による農水産物被害及び生活被害の防止	農業支援課
3-2 地球温暖化が防止されている	3-5 脱炭素化を推進する	愛玩動物の適正飼養の推進	動物愛護センター
		環境影響評価制度を構築し、周辺環境に配慮した開発事業の促進	環境政策課
	再生可能エネルギーの利用及び省エネルギーの推進	道路保全課 脱炭素戦略課	
		公共交通や自転車の利用促進	交通企画課 自転車利用推進課
		市電緑のじゅうたんの維持管理	みどり公園課

【成果指標】 温室効果ガス削減量

3-4 次期戦略（基本戦略4）～創る～

次期戦略

基本戦略4

創る

【重点プロジェクト】
豊富な地下水を育む

施策(具体的な取組)

- ・水源かん養(水田湛水、かん養林の整備・保全)の実施
- ・有効率向上のための上水道管の整備

状態目標

行動目標

施策(具体的な取組)

4-1
生きものの生息・生育地となる緑地が創出されている

4-1
生態系に配慮した緑を創出する

つながりの森補助金による緑化支援	花とみどり協働課
放置竹林対策・耕作放棄地対策への活動支援	みどり政策課 花とみどり協働課 農業委員会事務局
ESG債の促進(グリーンボンドの発行)	環境政策課
「スポンサー花壇」の整備・運営による緑地空間の確保	みどり政策課 花とみどり協働課
ふるさとの森基金の活用(環境保護地区)	みどり政策課
希少種に配慮した下草刈りや移植	みどり公園課 東区土木センター
(再掲)特定外来生物の駆除	環境政策課 各区土木センター
環境保全型農業の推進	農業支援課
生態系や自然環境に配慮した水路整備	農地整備課
生態系や自然環境に配慮した河川改修(多自然川づくり)	河川課

4-2
健全な生態系が回復している

4-2
ESG債など民間資金を活用する

4-3
在来種・希少種を増やす

4-4
生態系や自然環境に配慮した整備を推進する

【成果指標】 江津湖の外来魚の割合

3-5 次期戦略（基本戦略5）～活かす～

次期戦略

基本戦略5

活かす

【重点プロジェクト】 地下水の魅力発信する

施策(具体的な取組)

- ・熊本の地下水の国内外への魅力発信
- ・若い世代による地下水の魅力発信

状態目標	行動目標	施策(具体的な取組)	
5-1 熊本市の地域特性を活かしたプレゼンスが強化されている	5-1 地域特性を活かした魅力を発信する	豊富な地下水や農水産物を通した国内外への魅力発信	水保全課 国際課 農業政策課
	5-2 地域特性を活かしたまちづくりを推進する	温泉や竹林などの地域資源を活用したまちづくり	観光政策課
	5-3 歴史や文化を活かした観光まちづくりを推進する	熊本の魅力を活用した観光振興	観光政策課
	5-4 バイオマスを活用する	熊本城や地域のお祭りといった歴史と文化の継承	文化政策課 熊本城総合事務所
	5-5 グリーンインフラやEco-DRR(生態系を活用した防災・減災)を推進する	環境工場でのバイオマス発電や熱エネルギーの活用	環境施設課
5-2 生物多様性のめぐみが社会課題解決に活用されている(NbS)		・街路樹植栽スペースの雨水貯留機能の活用 ・土砂災害防備林の整備	みどり公園課

【成果指標】 熊本市の地域の魅力を活かしたイベントの実施回数

4 今後のスケジュール

	2023 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024 1月	2月	3月	4月	5月
業務	骨子案検討			施策・ 行動計画検討				パブコメ実施		素案 修正	完成		
					素案検討								
議会					R5③ 骨子案 報告			R5④ 素案 報告			R6① パブコ メ 報告		
推進 会議			① 骨子案		② 施策等		③ 素案				④ 報告		R6① R5 評価
専門 家会 合					情報収集 情報共有						① 報告		
庁内 会議		① 概要 説明	② 骨子案		③ 施策等	④ 素案					⑤ 報告		